

2016年1月25日

報道関係各位

サンド株式会社  
東京都港区虎ノ門 1-23-1  
虎ノ門ヒルズ森タワー  
Tel : 03-6899-5335  
www.sandoz.jp

## リツキシマブのバイオシミラーに関する ライセンス契約締結のお知らせ

サンド株式会社（本社：東京港区、代表取締役社長：長谷川智裕、以下「サンド(株)」）と協和発酵キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：花井 陳雄、以下「協和発酵キリン(株)」）は、サンドがグローバルで開発中のリツキシマブのバイオシミラーについて、日本における販売に関するライセンス契約を2015年12月24日に締結したことをお知らせします。

リツキシマブはCD20<sup>※1</sup>に対するキメラモノクローナル抗体<sup>※2</sup>で、日本の他、世界各国で販売されています。主たる適応症はCD20陽性の非ホジキンリンパ腫です。

今回の契約に基づき、サンド(株)は協和発酵キリン(株)より、契約一時金その他、承認申請や承認取得時および成功報酬型のマイルストーン、さらに販売時のロイヤルティを受領します。サンド(株)は本剤の製造販売承認申請を行い、協和発酵キリン(株)は販売およびマーケティング活動を担います。

この度の契約締結に際し、弊社代表取締役社長 長谷川智裕は次のように述べています。「バイオシミラーのパイオニアで世界的リーダーである弊社の強みのグローバルバイオシミラーポートフォリオをますます活かしていきたいと考えています。現在急速に拡大しており、今後もますます成長するバイオシミラー市場で当該製品を大きく成長させることのできるパートナーとこの度の契約を締結できたことをうれしく思います。今後、両社で開発および商業化を加速し、より早く患者さん、医療従事者の皆様へ当該製品をお届けできるよう邁進して参ります。」

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。したがって、その内容に関して、また、将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる場合があることをご了解下さい。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けております Form20-F をご参照下さい。

※1 CD20

B細胞に発現し、正常・腫瘍細胞は問わず、preB～成熟Bにかけて細胞膜表面に認められる抗原

※2 キメラモノクローナル抗体

マウス抗体の可変部をヒト抗体の定常部に導入したモノクローナル抗体

2016 年 1 月 25 日

報道関係各位

サンド株式会社  
東京都港区虎ノ門 1-23-1  
虎ノ門ヒルズ森タワー  
Tel : 03-6899-5335  
www.sandoz.jp

## サンドについて

ノバルティスのジェネリック医薬品事業部門であるサンドは、ジェネリック医薬品のグローバルリーダーとして高品質でリーズナブルな価格の製品を提供しています。世界 160 ヶ国以上で事業展開し、約 26,000 名の従業員を擁しています。2014 年度の全世界における売上高は約 96 億米ドルでした。約 1,100 品目の製品ポートフォリオを持ち、バイオ後続品、抗生物質、眼科領域製剤、移植領域製剤で、世界市場 1 位につけています。また、注射剤、皮膚科製剤、呼吸器製剤、循環器製剤、代謝性医薬品、中枢神経製剤、鎮痛剤、消化器製剤の各市場でリーディングポジションにつけています。サンドはこれらの最終製品に加え、中間体、また、バイオ医薬品の開発、生産、販売も行っています。製品群の約半数は開発および生産が難しいと言われる差別化可能製品群が占めています。2003 年にジェネリックビジネスをサンドブランドに一本化して以来、強固な内部成長を実現しており、また、それに加え、フォーカスする地域を選択し、ヘキサル（ドイツ）、エベベ・ファーマ（オーストリア）、フージェラ（米国）の買収をきっかけに、差別化可能製品群において強固な成長を継続しています。

以上